

食育推進計画（第4次）における食育の推進に当たっての指標（案）

資料3

R3第1回食育推進部会（R3.8.17）

取組の柱	施策番号	指 標		現状値（R2）	目標値（R8）	現状値データ出典	計画期間内の経年モニタリング方法	
（柱） 子どもや若い世代を食生活の中心とした実践	(1)	継続	(幼児1～5歳)	97.0%	100%	朝ごはんアンケート(健康増進課)	朝ごはんアンケート(健康増進課)	
		継続	(児童・生徒6～14歳)	86.8%	100%	兵庫県児童生徒体力・運動能力調査(教育委員会)	兵庫県児童生徒体力・運動能力調査(教育委員会)	
		見直し	(若い世代 15～30歳代 男性)	74.3%	82%以上	兵庫県児童生徒体力・運動能力調査(教育委員会) R2県民モニター調査	兵庫県児童生徒体力・運動能力調査(教育委員会) R7県民モニター調査	
		見直し	(若い世代 15～30歳代 女性)	76.6%	84%以上			
	(1)	見直し	児童福祉施設における食育計画を作成・実施している施設の割合の増加		今後把握	100%	R2実績値(健康増進課)	給食施設栄養管理報告書
	(2)	見直し	公立小中特別支援学校教職員における食に関する校内研修の実施率の増加		今後把握	100%	R3食に関する指導実施状況調査(体育保健課)	実績値(体育保健課) 「食に関する指導」実施状況調査
	(2)	継続	食育を7教科の中で実施した中学校の割合の増加(技術家庭科、保健体育を除く)		75.5%	100%	R2実績値(体育保健課)	
(2)	見直し	学校給食を活用し、地場産物について指導している小・中学校の割合の増加		今後把握	100%	R3食に関する指導実施状況調査(体育保健課)		
（柱） 健やかな暮らしを支える食育活動の推進	(1)	継続	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加(20歳以上)		67.0%	75%以上	R2県民モニター調査	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価は栄養バランスガイドにかかる講習会回数等
	(1)	見直し	地域などで共食できる機会の増加	子ども食堂を設置している市町	〇〇市町	全市町	R2実績値(地域福祉課)	実績値(地域福祉課)
	(1)			地域高齢者の通いの場の数	〇〇カ所	〇〇〇カ所	R2実績値(高齢政策課)	実績値(高齢政策課)
	(1)	新規	栄養・食生活改善を中心に健康づくりに取り組む企業(給食施設)数		今後把握	〇〇施設	R2実績値(健康増進課)	実績値(健康増進課)
	(1)	新規	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合の増加		今後把握	55%以上		
	(2)	継続	食の健康協力店の店舗数の増加(登録店舗数)		8,524店	9,300店		
	(2)	継続	食の健康協力店の取り組み内容の充実(栄養成分の表示)		3,271店	3,500店		
	(2)	見直し	家族構成や家族の健康状態に応じて非常用食料などを備蓄している世帯の割合の増加(世帯)		今後把握	75%以上	R3ひょうご栄養・食生活実態調査で把握	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価は非常用食料備蓄に関する講習会回数等
（柱） 持続可能な食の推進を支える	(1)	継続	地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合の増加		66.4%	69.5%	ひょうごのゆたかさ指標県民意識調査	ひょうごのゆたかさ指標県民意識調査
	(1)	継続	直売所等利用者数の増加		2,820万人	3,700万人	R2実績値(楽農生活室)	実績値(楽農生活室)
	(1)	見直し	兵庫県認証食品数の増加		2,246品目	2,320品目	R2実績値(消費流通課)	実績値(消費流通課)
	(2)	新規	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ人の割合の増加(20歳以上)		今後把握	75%以上	R3ひょうご栄養・食生活実態調査で把握	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価はエシカル消費行動項目数等
	(2)	新規	食品ロス削減のために何らかの行動をしている人の割合の増加(20歳以上)		今後把握	80%以上	R3ひょうご栄養・食生活実態調査で把握	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価は食品ロスに関する講習会開催回数等
	(1)	継続	楽農生活交流人口数の増加		1,108万人/年(R元)	1,173万人/年	R2実績値(楽農生活室)	実績値(楽農生活室)
	(3)	継続	地域の行事食、郷土料理を知っている人、作ることができる人の割合の増加(20歳以上) (知っている人) (作ることができる人)		49.3%	55%以上	R2県民モニター調査	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価は食生活改善講習会アンケート等
				24.1%	30%以上			
（柱） 体の食制た育整備の推進	(2)	継続	食育の意義を理解し、食育活動を実践している人の割合の増加(20歳以上)		66.3%	75%以上	R2県民モニター調査	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価は食生活改善講習会アンケート等
	(3)	新規	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する人の割合の増加(20歳以上)		今後把握	80%以上	R3ひょうご栄養・食生活実態調査で把握	最終評価はR7県民モニター調査等 単年評価は食品の安全性に関する講習会の回数等
	(4)	新規	デジタル技術を活用した食育活動に取り組む組織・団体の増加		今後把握	100団体	R3.10月食育月間調査実績(健康増進課)	実績値(健康増進課)
	(5)	新規	県の食育推進計画の指標と連動した指標を掲げる市町食育推進計画数を増やす		今後把握	全市町	R3実績値(健康増進課)	実績値(健康増進課)